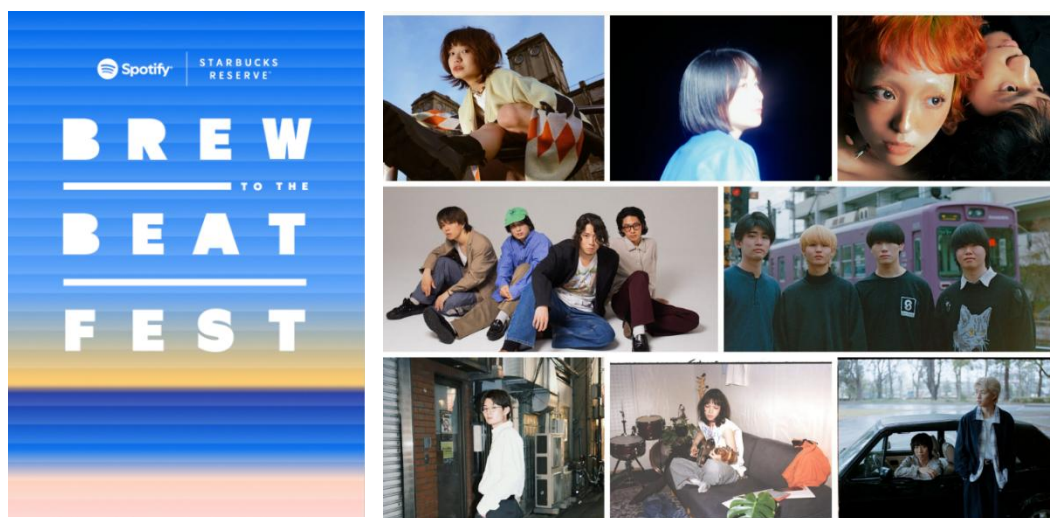




2026 年 8 月 28 日

初のアーティストアンバサダーを決める一般投票が 8 月 28 日(金)スタート
Spotify × スターバックスコラボレーション コーヒーと音楽を楽しむイベント『Brew to the Beat Fest』
次世代アーティスト 8 組がコーヒーから生まれた楽曲を同日より Spotify で配信開始！

スターバックス コーヒー ジャパン株式会社[本社所在地:東京都品川区、代表取締役最高経営責任者(CEO):森井久恵]は、世界最大級のオーディオストリーミングサービス「Spotify」とコラボレーションし、コーヒー×音楽体験を届けるイベント『Brew to the Beat Fest』を 2026 年 8 月 28 日(金)にスターバックス リザーブ® ロースタリー 東京(以下、ロースタリー 東京)にて開催します。同日より、本取組初のアーティストアンバサダーを決める一般投票をスタートします。投票結果をもとに選ばれたアーティストは、来年開催予定(Spotify × ロースタリー 東京)のライブへの出演権を獲得するとともに、スターバックスと Spotify とともに、コーヒーと音楽が交わる楽しみをお客様に届けていくアンバサダーとして活動します。あわせて、イベントに出演する次の時代の音楽シーンを形づくるアーティスト 8 組が、ロースタリー 東京でのワークショップを通じてコーヒーからインスピレーションを得て制作したオリジナル楽曲を Spotify で配信開始。スターバックスと Spotify、そしてお客様が一体となって未来の才能を応援する、新たな音楽体験をお楽しみください。



■ コーヒーと音楽の文化を届ける初のアーティストアンバサダーを決める投票がスタート！

コーヒーから生まれた 8 曲も Spotify で配信開始

本日より、スターバックスと Spotify とともにコーヒーと音楽の文化をお客様に届けていく、本取組初のアーティストアンバサダーを決定する一般投票がスタートします。あわせて、『Brew to the Beat Fest』に出演する 8 組の次世代アーティストが、ロースタリー 東京での体験をもとに制作したオリジナル楽曲を Spotify にて配信開始。イベント来場者だけでなく、Spotify で楽曲を聴いた方も投票に参加でき、リアルとデジタルを横断しながら未来の才能を応援する新たな音楽体験をお届けします。

本プロジェクトは、「Bloom from the Brew to the Beat」をテーマに、焙煎から抽出まで、スターバックスのコーヒーの魅力を最大限に表現する場であるロースタリー 東京と、次の時代の音楽シーンを担う 8 組のアーティストが、コーヒーと音楽の新たな文化発信に挑戦する取り組みです。コーヒーから生まれたインスピレーションが音楽となり、新たな才能が花開いていくという想いが込められています。

イベントに先立ち、アーティストたちはロースタリー 東京を訪れ、ロースタリーツアーやコーヒーテイastingを通じて、

焙煎の香りや抽出音、バリスタの所作など、コーヒーが生まれる瞬間を五感で体験。そのインスピレーションをもとに、それぞれがオリジナル楽曲を制作しました。コーヒーから生まれた8組8様の音楽を通じて、ロースタリー 東京ならではのコーヒーの魅力を耳でもお楽しみください。

アンバサダーに選ばれたアーティストは、スターバックスとSpotifyとともに、コーヒーと音楽が交わる楽しみをお客様に届けていきます。ロースタリー 東京での単独ライブや、ロースタリー 東京公式 SNS アカウントとSpotify×スターバックスのコラボレーションプレイリストでの楽曲配信、さらにロースタリー 東京でのコーヒー体験とその様子の配信など、コーヒーと音楽をつなぐさまざまな取り組みを予定しています。

※活動内容は現時点での予定であり、変更となる場合があります。

【リンク情報】

投票はこちら:<https://brew-to-the-beat-fest-vote.com/>

楽曲はこちら:[Brew to the Beat Fest](#)

【楽曲紹介】

①Chambers /「グッドバイ」

夏の目黒川の景色から生まれた、スキップするようなグルーヴ。

ベースのトラックから聞こえてきたのは「誰かがスキップしている」ような足取り。その足がどこを歩いているのかを考えたとき浮かんだのが、ロースタリー 東京を訪れた日に見た、夏へ駆け上がる直前の目黒川の風景だった。Funk、Soul、Rock、Blues——異なるルーツを持つ4人が鳴らす、軽やかな「グッドバイ」。自らを例えるコーヒーは「ウインナーコーヒー」。

作詞: 佐々木寛武／作曲・編曲: Chambers

②Gingersamm /white nights (feat. 永井琳子)

夜に飲むコーヒーが連れていく、ドリーミーで、やけに現実的な世界。

「コーヒーは嗜好品であり機能的で、奥行きを感じる」——夜の作業中にコーヒーを飲むことが多いという山田京侍が、その相反するバランスをそのまま一曲に翻訳。ゲストボーカルに永井琳子を迎え、「真剣さと適当さ」のちょうど中間にある歌声が、ひとつの部屋の中で語りかけるように響く。過去最も推敲を重ねたという歌詞が、白夜のような時間を描き出す。自らを例えるコーヒーは「最初は少し苦みを感じるけれど、飲み進めるうちにほのかな甘さが感じられるブラックコーヒー」。

作詞・作曲: 山田京侍／編曲: Gingersamm

③Julia Takada /「Voyage」

「スターバックスは“Storyteller”なんだ」——気づきから生まれた、海を渡る旅の歌。

生産者から一杯のコーヒーに至るまでの物語が息づくロースタリー 東京。その空間を訪れる人もまた、それぞれのストーリーを紡いでいる。そこから自然とテーマは「旅」へ。Siren の物語、そして海を越えて世界中へ届けられるコーヒーの旅路が、この曲のイメージと重なった。軸となるのは、どこか懐かしく温かみのあるガットギターの旋律。景色は移り変わっても、心の中にある喜びや哀しみは変わらずそこにある——その対比を音と言葉に込めた。自らを例えるコーヒーは「ハイビスカスやマンゴーなど、ほんのリトロピカルな香りがするブラックコーヒー」。

作詞: Julia Takada／作曲: Julia Takada, Ryuju Tanoue／編曲: Ryuju Tanoue

④古燈 直人 /「待っている」

日本一のバリスタの言葉が背中を押した、内省とエンターテインメントの交差点。

ロースタリー 東京で聞いた、ひとつの志に生活を捧げるバリスタの話。「アスリートのように、大会の前には自分を鼓舞する音楽を聴く」——その姿は自身の歩みにも重なった。時が経つほど、現実を知るほど、初心に抱いた夢から離れていくこと。いつか終わってしまう青春や関係。その煩悶の先で待っている未知の自分を描く。シティポップのフォーマットを踏まえながら、今を生きる私たちの道のりを懐古し、未来を鼓舞する一曲。自らを例えるコーヒーは「酸味の弱い深煎りのブラックコーヒー」。

作詞・作曲：古燈 直人／編曲：Hiroki Sawada

⑤ mayu / 「ふたりの惑星」

各国のコーヒー豆のテイastingが呼び起こした、真夜中の浮遊感。

さまざまな国の豆を味わったとき、香りや味わいから、真夜中に不思議な夢を見るような浮遊感を覚えた。そこに、コーヒーを飲むときの静かな閉塞感、そしてカフェインによって目の前のものへ意識が研ぎ澄まされ、少し過敏になる感覚が重なる。それらが交わり合う一瞬を掴むように制作された一曲。イントロから聴く人がくるとその世界にハマってしまう、曲そのものが持つムードにこだわった。自らを例えるコーヒーは「すっきりしたアイスのアメリカーノ」。

作詞・作曲：mayu

⑥ モノクル / 「マーブルプラネット」

擬人化されたコーヒーが主人公。盲目的で情熱的なラブソング。

ワークショップで印象的だった言葉をメモし、それを眺めているうちに、そこにいる人たちのコーヒーや仕事への愛が、盲目的で情熱的な恋愛と重なって見えた。コーヒーを飲んだときの二面性を表すため、1 番と 2 番でバンドアレンジを変化させ、前向きに閃きのスイッチが入る時間と、落ち着いてリラックスできる時間の両方を描く。随所にコーヒーを連想させるサウンドも忍ばせた。自らを例えるコーヒーは、吉田沙良「カラフルで情熱的だけど、落ち着きたい深みがありたいと願っているブレンドコーヒー」、角田隆太「仏のように佇む、毎日飲めるソイラテ」。

作詞・作曲：吉田沙良／編曲：角田隆太、吉田沙良

⑦ 猫は液体 / 「ほしくず」

「一番星にならなくてもいいよ」——サビの転調で視界が開ける、星と人生の歌。

地球から見える星は大小さまざま。煌びやかな星も、小さくて可愛い星もある。その様子を私たちの人生に当てはめた一曲。印象的なギターフレーズで幕を開け、静かな B メロで一度空気を落ち着かせ、サビの転調で一気に視界が開けるような高揚感へ。思わず口ずさみたくなるメロディーに仕上げた。自らを例えるコーヒーは「お店独自のブレンドコーヒー」。数種類の豆を厳選して絶妙なバランスを保つように、さまざまな音楽ジャンルからの影響を配合している。

作詞・作曲：小橋 一輝／編曲：猫は液体

⑧ Som / 「hibana」

コーヒーの赤い実が弾ける瞬間と、恋に心が高鳴る瞬間を重ねて。

コーヒーの実が弾ける瞬間、火花、恋愛で心が高鳴る瞬間、そして手持ち花火の情景。異なるモチーフでありながら、どれも一瞬のきらめきと熱量を宿している。それらをひとつのイメージとして重ね合わせ、強く心が動く瞬間の先に、穏やかな温度が続いてほしいという願いを込めた。自らを例えるコーヒーは「浅煎りのハンドドリップコーヒー」。

作詞・作曲：Som／編曲：akira sorimachi

■ 出演アーティスト紹介

Chambers



Funk、Soul、Rock、Blues——それぞれ異なるルーツを持つ4人が集い、ジャンルの枠を超えたサウンドを紡ぐ。東京を拠点にライブ活動を展開し、卓越した演奏力と、佐々木による英語と日本語を自在に行き交うボーカルが独自の世界観を描き出す。多彩な音楽性を横断しながらも、その根底にはメンバーそれぞれのルーツが息づき、唯一無二のグルーヴを生み出している。

Gingersamm



山田京侍(ヴォーカル)と片岡智哉(ドラム)の2人組。繊細な歌詞と囁くような歌声、懐かしさと現代性が溶け合うサウンドで独自の世界観を築く。国内外のアーティストとのコラボレーションを重ねながら、ジャンルを越えた表現で注目を集めている。

Julia Takada



クリエイティブレーベル「w.a.u」所属のインディーポップシンガー。日本とアメリカにルーツを持ち、ポジティブでありながら繊細な歌声と、ジャンルにとらわれない感性で独自の音楽世界を描く。2021年には「Don't Know Who I Am」が映画『最も無害で、あまりにも攻撃的』の挿入歌に起用。近年はEP『You & I』や「Take you away」がSpotify 公式プレイリストで国内外から高い評価を獲得するなど、その歌声は世界へと広がり続けている。アートワークまで自ら手掛けるマルチクリエイターとしても活動中。

古燈 直人



「懐かしいのに、新しい」——80年代を思わせるノスタルジックな空気感を現代の感性で描き出すシンガーソングライター。どこか懐かしく、それでいて新鮮なサウンドに、人間の孤独や葛藤、温もりを静かに映し出す。幼少期から合唱や舞台で培った確かな音楽性を礎に、作詞・作曲・歌唱まで一貫して手掛ける。2026年6月発表の「夢が醒めたら」は国境を越えて聴かれはじめ、海外からの再生数も着実に増加。その名は少しずつ世界へと広がりを見せている。

mayu



東京を拠点に活動するシンガーソングライター／ギタリスト。日々の感情や風景から生まれるギターフレーズと言葉を、日記を綴るように丁寧に紡ぎながら楽曲を制作している。ポップス、インディーロック、アシッドフォークを横断するオルタナティブなサウンドを軸に、繊細な歌声と自然体な表現で独自の世界観を描く。バンド編成でのライブや韓国公演など活動の幅を広げ、2026年にはFUJI ROCK FESTIVAL '26「ROOKIE A GO-GO」に出演。飾らない表現で多くのリスナーを魅了している

モノノクル



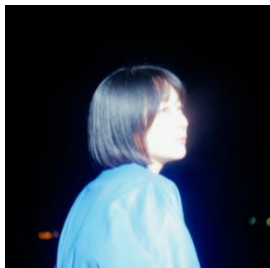
ジャズ、ネオソウル、エレクトロ、ポップス——ジャンルの境界を軽やかに越えながら、詩情豊かな日本語詞と洗練されたサウンドで独自の世界観を紡ぐ吉田沙良と角田隆太によるユニット。2011年の結成以来、変化を恐れない自由な音楽性で進化を続け、CM やアニメ主題歌、国内大型フェスなど幅広いフィールドで活躍。繊細な感性と確かな演奏力で、時代に寄り添うポップミュージックを届けている。

猫は液体



2024年に京都で結成されたギターロックバンド。叙情的で情景描写に富んだ歌詞と、甘く伸びやかなメロディーを軸に、日常に潜む感情の揺らぎや移ろいを繊細に描き出す。余白を活かしたサウンドと丁寧な言葉選びが織りなす世界観で、静かな余韻を残す楽曲を届ける。2026年3月には1st EP『後ろ髪を引かれて』をリリースし、東京・大阪で初の自主企画ライブを開催するなど、ライブハウスシーンを中心に着実に活動の幅を広げている。

Som



J-POP の叙情的なメロディーと K-R&B の洗練されたグルーヴを融合させたサウンドを奏でるシンガーソングライター。日常の揺れ動く感情や何気ない瞬間を繊細な言葉で紡ぎ、ハスキーで親密な歌声と心地よいビートで表現する。2025年には「天体」「ミッドナイト」、26年には「TAKE1」をリリースし、等身大の想いや葛藤を温かな視点で描き出した。日々の暮らしにそっと寄り添い、ほっと一息つける音楽を届け続けている。

■ Spotify について

<https://www.spotify.com/>

Spotify は 2008 年のサービス開始以来、音楽の楽しみ方を一変させました。Spotify では 1 億曲以上の音楽や 700 万番組以上のポッドキャスト、35 万以上のオーディオブックを、無料で発見・管理・共有することができます。有料のプレミアムプランにアップグレードいただければ、広告が入らず、より高音質に、インターネット環境がなくても、好きな曲順にお楽しみいただけます。Spotify は、現在 180 以上の国と地域で、3 億人の有料会員を含む、7 億 7,700 万人のユーザーが利用する、世界で最も人気のあるオーディオストリーミングサービスです。

◆ スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社 <https://www.starbucks.co.jp/>

スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社は、1996 年に東京・銀座に日本第 1 号店を開業。全世界約 80 のマーケットで約 40,000 店舗以上、日本全国 47 都道府県において 2,116 店舗（2026 年 3 月末時点、ライセンス店舗を含む）のコーヒーストアを展開しております。約 6 万人のパートナー（従業員）が、一杯のコーヒーを通じて、人と人とのつながりと心あたまるひとときを提供しております。2019 年 2 月 28 日には、世界 5 拠点目となる「スターバックス リザーブ® ロースタリー 東京」をオープンしました。全国に広がる、人・社会、地球環境、地域とつながりを育むストーリーは、「STARBUCKS STORIES JAPAN」で紹介しております。